



丹原 史晶さん

子どものアトリエ七星主宰
昭和49年8月生まれ・岡山出身・2児の父親
保育士資格・色彩コーディネーター2級取得、
(株)ハート&カラー認定 チャイルドアートインストラクター
ART&THERAPY 色彩心理協会実践会員

(一)もなく、子どもたちは頭の中にある設計図をどんだん形にします。こうして作った作品すべてが、さっきまで子どもの頭の中にあつた「考え」という形の無いものなのです。
『考え』は形にすることで生かされ、素晴らしいコミュニケーションツールになるのです。なぜなら、頭の中にあるだけでは伝えきれないことがあつたり、ままことができなかったり、一緒に遊べなかつたり、難しい難題があることに気づかなかつたりするからです。

与えられた情報や与えられたものではなく、自分で考え、自分で探求し、自分で経験し、自分で失敗し、自分で成功する時間や機会です。受け身ではなく、自分自身でどんだん道をつくる好奇心です。
自らの考えに伴う経験は、体の奥深くに入り込み、ずっと残っていきます。そして何か必要な時の引き出しとなつて、自分自身を支えてくれる人間力となります。しかし、与えられた経験は体の奥深くに入り込まず、次に与えられた

『考え』は形にするまで生かされません。『考える時間』は、子どもが考えている時間。

子どもの成長を

お父さんやお母さんと一緒に見守るために教室をつくりました。

私は子どものアトリエ七星と「子どもの色芸術大学」という2つの教室を主宰しています。

「子どものアトリエ七星」は、2歳〜小学6年生の子どもたち約100人が通っています。部屋中に100種類以上の画材(材料や道具)があります。使いたい画材や気になる画材を自由に手に取って、工作したり、絵を描いたりする、子どものための自由空間です。子どもの作った作品や創作している様子から、どんな成長

長が見られるかをお父さんやお母さんにお伝えしていきます。

もうひとつの教室「子どもの色芸術大学」は、小学3年生〜6年生の子どもが対象で、普段あまり考えることのないスーパーに置かれた商品や芸術に深く触れることにより、普段の生活の何気ないことについて考ええるきっかけになれば良いと考えています。

子どもの頭の中にある設計図をどんだん形にしていくなのが、工作です。

「子どものアトリエ七星」では何をつくっても自由です。私は子ども

が困ったときに助言するだけです。出来上がる子どもたちの作品は、素晴らしいものばかりです。

何を作ったのか分からないものでも、何、作ってるの?と聞くと、子どもは待つてましたと言わんばかりに、作品について話してくれまます。船を作つてね、これはお化けの船なんだ! 妹がいつも悪いことばかりするから、このお化けが妹を驚かすんだよ。スゴイでしょ」と止まりません。

時にはままことに付き合ひ、時には作つたもので一緒に遊び、時には難しい難題を一緒に考えていきます。

誰に教えてもらったわけでも

『考える時間』や『考える機会』が子どもを支える人間力(生きる力)になります。

今は本当に便利な時代です。こんな日本に暮らす子どもたちは、幸せだと思ひます。しかし、その代償として、子どもたちの育ちに欠けてしまったものもあると思うのです。

その一つが、「考える時間」「考える機会」の減少だと思ひます。便利なものに囲まれ、情報があふれ、子どもたちは受け身になつていように感じます。

子どもの時に本当に必要なのは、

楽しい経験に押しつけられるように、消えていくと思ひます。

子どものアトリエ七星・アウトライン
クラス 月2回第1・3週クラスと第2・4週クラス
(※)は2歳児が対象

水曜日	金曜日	土曜日
10:00~70分(※)	10:00~70分(※)	10:00~90分
13:00~90分	14:30~70分(※)	13:00~90分
16:30~90分	16:30~90分	16:00~90分
18:30~90分		

月謝 土曜日・月2回/5000円、
水曜日もしくは金曜日・月2回/4500円
水曜日もしくは金曜日・月2回(※)/4000円
問い合わせ TEL 086-284-8402 岡山市橋津958-4